

CASBEE[®]さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

■ 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)さいたま大宮プロジェクト新築工事	階数	地上11F
建設地	さいたま市大宮区大門町2丁目114-1、115-1・2・4、116-1・2・5・6、117-2	構造	S造
用途地域	商業地域・準防火地域	平均居住人員	191人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2018年11月14日
敷地面積	998㎡	作成者	松本拓也
建築面積	584㎡	確認日	2018年11月15日
延床面積	6,272㎡	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境、サービス性能に配慮している。 ・敷地内外環境に配慮している。 ・省エネルギー性能並びに、資源、マテリアルの確保に努めている。 	0	
Q1 室内環境 ・開口部はT-2と高い遮音性能を確保している。 ・宿泊部は高い昼光率を確保している。 ・内装材は規制対象外F☆☆☆☆を採用し、空気質環境に配慮している。	Q2 サービス性能 ・光配線を設置している。 ・防汚性の高い建材を採用し、建物の維持管理に配慮している。 ・給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用としている。	Q3 室外環境 (敷地内) ・中、高木、植栽を配置している。 ・景観形成基準に配慮している。
LR1 エネルギー ・高性能断熱材の採用等、建物の熱負荷抑制に努めている。 ・LED照明の採用等、高効率設備機器の採用に努めている。	LR2 資源・マテリアル ・節水性能に配慮している。 ・LGS下地、OAフロアの採用等、解体時におけるリサイクル性に配慮している。 ・防水工事にプライマーを採用し、化学物質の使用削減に努めている。	LR3 敷地外環境 ・省エネルギー性能を高めLCCO ₂ 排出率を削減し、地球温暖化防止に努めている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される